



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 24 年 4 月 25 日(水)～11 月 16 日(金)  
常盤 散歩道 編

4 月 25 日(水) しいたけ種駒植菌  
常盤小学校生徒全員でナラの原木 100 本に 2,300 個打ち込み。生徒 64 名、先生、ときめき隊が参加。



6 月 1 日(金) 学校林活動  
平成 3 年から 22 年間、設定木の胸高直径と樹高測定し、記録を残している。  
4 月 25 日にしいたけ種駒植菌したほだ木を学校林に移動。



10 月 4 日(木) 稲刈り体験  
常盤中学校生徒が昔からの稲刈り鎌で刈り取りし、乾燥のための杭かけ体験と農家インタビューを行った。NPO 法人と際ときめき隊についても学習。



10 月 6 日(土) ふるさと学習交流会  
市内の各小学校学習での活動発表。常盤小学校は、4 月 25 日と 6 月 1 日の体験を「常小しいたけ調査隊～学校林活動とおして」と題して 5 年生が発表。



10 月 21 日(日) しいたけ販売体験  
常盤中学校生徒がときめき隊の朝市で常盤産の干しいたけ、さつまいもを上町ほっとステーションで販売。30 分で完売しました。





こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

10月29日(月) 植樹体験

常盤小学校の5・6年生が毘沙門憩いの森公園で地拵えを終え、植樹に必要な道具を点検。ナラ苗木(実生苗)100本、スギ間伐木の支柱100本、ヒロ縄、トガ、腰鉈(こしなた)、カケヤ、間縄、軍手、全部整った。さらに雨も加わった。松葉杖の生徒さんも加わってくれた。

地域のひとと協力して上手に植えることができた、大きく育てほしいと笑顔を見せてくれた。自分で木を植えることで、大人になっても常盤の自然を愛してほしいと。



11月1日(木) 炭焼き体験

常盤中学校の生徒が毘沙門憩いの森公園で。

地域の方々を乗せた貸し切りバスは毘沙門窯へと向い、生徒達は待っていた。いざ、窯出し。窯の中が燃えていた、まだ早い。そこで築窯過程を写真で説明しながらクイズをした。

①炭の材料は？②窯の温度は？③赤々とした炭をどうして黒くするのか？④できた炭は〇炭か、○炭か？

②を除いて一緒に解題した。

熱い、熱い・・・灰をかけて炭誕生。準備してあった焼き鳥の肉。早速できたての炭で焼いて焼き鳥。ご馳走様。うまい、うまい100本を皆さんでご馳走。

地域の方々はこのあと開通したばかりの林道フォレストロードをバスで紅葉とあわせ見学し、喜んだ。



11月16日(金) 能代っ子中学生ふるさと会議

各校生徒達が職場体験を通して学んだことを発表しあい、社会や地域を支える仕事について考える。常盤中学校の生徒は「農業を通して『働くこと』を考える」と題して、10月4日の稲刈り体験のことを発表。

農家のやりがいには「安全な食材を育てて収穫すること」「朝に収穫したものが新鮮な状態で食べられること」があり、働くことは社会貢献と地域の自立につながり、何よりも働くことは生きがいだということが分かったと、まとめていました。

最後のまとめには、能代には若い人が働く場所が必要。農業関係の仕事にスポットを当てていくべき、などと意見を出し合いました。会議の最後には、稲刈り体験の写真がスクリーンに出ていました。



文：小林 甚一